

おらほの病院

～あたたかな医療をめざして～

諏訪中央病院 リレーコラム

87

院内助産院をママと 赤ちゃんの特別な場所に

クラウドファンディングに挑戦

2020年1月より院内助産院を開始し、現在までに150人の赤ちゃんが元気に産まれていきます。今後も分娩予約をいただき、選ばれる出産場所のひとつとなってきます。

当院は長野県にひとつとなつてしまったWHO（世界保健機関）とユニセフ（国連児童基金）による「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されています。また、産後ケアや育児支援などいくつかのクラスを立ち上げています。

妊娠前のヨガ、ウォーキング、アロマセラピー、産後は手形や足形、育児サークルも定期的に行っています。しかし、クラスの間所は、空いている病院の会議室の使用で一定の場所での集まりができませんのが現状です。さらには、核家族のために母の孤立など世のお母さんは集う場所をさがしていることも分かりました。そのためにも、設備面での充実も欠かせない

諏訪中央病院

小児産科女性病棟師長

ふじ た ゆり
藤田 由理



と考へ、小児産科女性病棟内のラウンジの改修をクラウドファンディングで行いたいと考へました。クラウドファンディングは少額でも多くの人がすぐに寄付ができる民間の資金が社会を支えるという考へが現在活発になってきました。また、使途が明確で、支援する側

藤田 由理（ふじた・ゆり）
小児産科女性病棟師長
茅野市出身。

2001年諏訪中央病院入職。外科、内科、整形外科病棟や訪問看護ステーションなどを
経て、19年4月から小児産科女性病棟勤務

クラウドファンディングで叶えたいこと

もっと！産後ケア・育児支援の場としてコミュニケーションしやすいラウンジに。

☆ラウンジ「チューリップ」の改修

段差をなくし、マタニティヨガやアロマセラピーなど産後ケア・育児支援の場として、お母さんはじめご家族のみならずママも気軽に来ていただける場所にしたい！

もっと！温もりある優しい内装で、リラックスして過ごせる病室に。

☆女性専用病棟、個室部屋の内装リフォーム

「アットホームでリラックスできる場所」というコンセプトで、温もり感じる雰囲気、そして不安が和らぐ優しいお部屋にしたい！

も当事者意識や納得感を得やすいというメリットもあります。今回は資金650万円が達成されないときには全て返金となるシステムで行います。できるだけ多くの方にご賛同いただき、皆様の温かいご支援とお力添えをお願い致します。

次回（1月14日）掲載予定
（題字は鎌田實名誉院長）

皆さまの温かいご寄付をお待ちしております！

クラウドファンディング（寄付金控除型）

目標金額：650万円

実施方式：All or Nothing



【募集期間】

2023年12月4日（月）午前9時から

2024年1月31日（木）23時まで

そのほかご支援方法や詳しい内容はこちら！
◀READYFORプロジェクトページ

病院窓口での「代理手続き」のご案内

インターネットでのお申し込みが難しい場合、現金で寄付したいという方へ。

病院窓口でも受付を行っております。当院で寄付金をお預かりし、クラウドファンディングの手続きを代行いたします。

（※匿名でのご寄付も可能となっております。）

当院にお越しになれない方は、下記お問い合わせ先へご連絡ください。